



先手必勝、平井おやぢ初優勝!

「春祭り隣はベーをする人ぞ」何のこっちゃ。みなみ板橋おやこ劇場“まつり2009”に参加した4月19日(日)、第十三期N I B王戦を開催した。模擬店ではハルクの考案したプルコギドッグが初登場、あっという間に200個を完売した。

お腹を満たしたら第十三期N I B王戦だ。三人同時入れルールにも慣れてきて、たいした混乱もなくできたことは大きな一歩だ。さらにバクチ性の高いスリル満点のタイトル戦で楽しもうではないか。大森ホンコと重なったせいもあり参加者が34人とちと寂しかったが、それなりに楽しかったのではないか。そういう訳で予選落ちはたったの7人だ。しかし、その中におとなが二人混じっていたぞ。誰とは敢えて言わないが、これがベーの怖さだ。

決勝ブロックは27人、初参加の取手BC立川一家、久しぶりの池ママ、中Gももちろん残っている。その中で準決勝へトップ通過したのはマハール田島だ。前回初参戦の巨人は、インドをイメージしたTシャツ姿も艶やかに、勝点21で堂々たる成績だ。その他のメンバーは得点順に、取手立川、ハルク、平井おやぢ、ルパン師岡、イルマ田岡、ヤマジ、成増コースケ、中Gだ。いつもは強い子どもがこの時点でたった一人とは、三人同時入れルールには相応のテクニックが必要なのか。前回優勝のトシ田口の姿もないほどの激戦だ。

準決勝では、春になり体調も戻ったイルマ田岡と、決勝常連のヤマジが惜しかった。あと一歩だったねえ田岡さん、次回はやってやろう。そして「ベーゴマ三国志・赤壁の戦いレッドクリフ」決勝戦に残ったのは、平井おやぢ、コースケ、中Gの三人だ。N I B王戦は5番勝負の短期決戦なので、ここは先手必勝が勝利の鉄則だ。そこでおやぢがいきなり二つ飛ばして6点獲得する。これにコースケが2点取り追いすがすが、ポンポンとおやぢが5点取り、4番勝負であっさり優勝を決めてしまった。強いねえ平井さん。北町小時代からの古株だが、ここまでなぜかタイトルには縁が薄かった。「えっ、平井さん優勝初めてなの？」という会員の問いに、「チーム王戦で個人優勝したことはあるけど、グラチャンにからむタイトルは初めてだよ。」と答えた平井おやぢ、そのつぶらな瞳が微笑んでいた。



コースケ、平井おやぢ おめでとう!



名人戦は伊佐Pがトップに

2月からスタートした第九期名人戦は、序盤で伊佐Pがトップに立った。2位はマッチ吾野、3位はギンちゃんだ。ともにアベレージはあまり良くないが、とりあえず数をこなして点数を稼ごうというところだろう。アベレージトップはケイタだ。まだ三人しか対戦していないが平均3.67だ。これをどこまで維持できるだろうか。

子ども王はハルクの弟子成増コースケ

子どもでただ一人順決勝に進んだ成増コースケが、決勝戦にも残り初子ども王に輝いた。いつもはホンコばかりしているが、タイトル戦でも通用することを見事に証明してくれた。実力がついてきた証拠だな。師匠のハルクもうれしいことだろう。これで成増小からは4人目の子ども王だ。

